

がまこおり 議会 だより

12月市議会定例会

一般質問…ここが論点	2～8
議決された主な議案	8～11
委員会通信	11
議会日誌、3月定例会予定等	12

NO.
2024.2 **123**





詳しい質問項目と動画は、上記コードを読み込むとご覧いただけます。

一般質問…ここが論点

12月市議会定例会中、12月6日、7日、8日の3日間で、市政全般について17人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館等でご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。

12月定例会

日程	議員名	主な質問の項目
12月6日(水)	牧野泰広	(都)蒲郡環状線 ごみ屋敷 改正児童福祉法
	日恵野佳代	物価高騰など暮らしが大変な市民への支援 家族の介護、家事、兄弟の世話などケアを担う子ども(ヤングケアラー)の支援 女性への支援
	千賀充能	うなぎの養殖 ふるさと納税 伝統文化継承のための組織づくり
	鈴木将浩	事業者支援
	伊藤享佑	出産・育児 医療的ケア児の受入体制 災害発生時の対応 災害時における海上物資輸送における体制整備
12月7日(木)	大場康議	鈴木市長の二期目に向けた挑戦
	新実祥悟	第6次財政健全化改革チャレンジ計画 蒲郡の教育白書2023
	太田哲也	空家等の対策 相続登記の義務化
	尾崎広道	風疹の抗体検査 墓地 福祉避難所
	八田寿人	再生医療
	鈴木貴晶	ボートレース蒲郡の活性化 市役所の業務改善と活性化 LINE公式アカウントの運用
12月8日(金)	中野香余	超高齢化社会 未就学児の性教育(プライベートゾーン)
	藤田裕喜	特定小型原動機付自転車(いわゆる電動キックボード)への対応 ため池の安全管理 保育園への入所
	鈴木基夫	本市のマーケティングの考え方 本市のウェルビーイング
	松本昌成	子育ての孤立化を防ぐ取組 食品ロス削減の推進 障がい者支援
	芦刈純奈	学校給食 ひとり親家庭支援
	竹内滋泰	令和6年度の予算編成

※[下線付の項目](#)は質問と答弁の要旨を掲載しています。

いみ屋敷について



牧野泰広
自由クラブ

問 審議会を含めた部署横断的な取組を伺う。

答 関係部署が連携し、原因者を支援し、生活支援から解消につなげたいが、ごみ屋敷の悪化に応じては毅然とした対応を進めるため、審議会に諮りつつ改善に努めていきたい。

改正児童福祉法について

問 福祉型・医療型の一元化における児童発達支援センターの状況と人員確保を含めた今後の方向性を伺う。

答 支援センターに、幅広い高度な専門性に基つき保護者勉強会などを開催する発達支援家族支援機能、地域の障害児通所支援事業所に対する支援内容等の助言及び援助機能、地

域のインクルージョン推進の機能、地域の障害児の発達支援の相談機能の役割が求められている。また、作業療法士、言語聴覚士等の体制強化が必要であり、市民病院と連携し、専門職の出勤を増やすとともに、新たな相談支援専門員として新規雇用も考えていきたい。

問 インクルージョン機能の創出として肢体不自由児クラス新設を含め、環境を整える必要性について伺う。

答 スペース的にも現在の場所では難しいと考えている。場所などの課題を含め本市の支援センターの将来の在り方を考えていきたい。





日恵野佳代
無会派・
日本共産党

物価高騰など暮らしが大変な市民への支援

問 国の臨時交付金も活用して、水道基本料金の免除や給食費の無償期間延長、中小業者や福祉施設の燃料費支援、低所得世帯の支援、大学・専門学校生の支援を実施してはどうか。
答 支援策は現在検討中であり、今定例会の最終日に追加補正予算を提出する予定である。

ヤングケアラーの支援について

問 市のホームページにはヤングケアラー支援の情報が家事支援以外ない。ホームページの改善や、パンフレットの活用について伺う。
答 子どもや教職員、地域の方等にも理解してもらえよう周知啓発が必要と考える。国や県の動画をホームページに載せたり、学校や公共施設でリーフレットを配布する等、周知を拡大していきたい。

問 女性の悩み相談窓口の現状は。
答 県の女性悩みごと相談の窓口等を利用してもらっている。その他、市では様々な相談を受けており、令和4年度実績として、DV相談41件（夫婦間、子ども、親からの暴力の相談等）、家庭児童相談1066件（児童の擁護の相談等）、法律相談216件、よろず相談98件（家庭の相談等）があった。

女性への支援について

問 石倉かごの設置も含め、三谷水産高校が行っているウナギの研究について、小中学生に広めていくための方策を伺う。
答 小中学校では、市内の高校との連携を推進している。身近な環境など、様々な地域の課題について今後も互いに知恵を出し合い、学びを深めていきたい。



千賀充能
自民党市議団

うなぎの養殖について

問 コミュニティづくりの一助となるよう、チャラボコ太鼓の伝統文化継承組織づくりをしてはどうか。
答 伝統芸能を大切にしたいという地域の盛り上がりをもつに、関係者が市全体をつなげる組織を立ち上げることに、またそれにより地域コミュニティが活性化することは、すばらしいことだと考える。市としても、他の地域の伝統文化伝承例の紹介などを通じて協力していきたい。

ふるさと納税について

問 クラフトフェアの作家や農業関係者に頼み、ふるさと納税の返礼品にいろいろな作品や果物を出すのはどうか。
答 国が示す地場産品基準に適合するものである場合には返礼品を拡充し、寄附金額の向

上に今後も努めていきたい。

伝統文化継承のための組織づくりについて

問 インボイス制度・電子帳簿等保存制度について周知・支援をすべきではないか。
答 周知に努め、必要な支援策も調査・研究していく。



鈴木将浩
自民党市議団

事業者支援について

問 国や県の認定・補助を受けるため、子育て環境を整備する事業者を支援してはどうか。
答 事業者にとって人材確保につながるだけでなく、認定は有益であるため、周知と取得支援に努めていきたい。

学校での授業等、子育てや教育分野で協力してくれる事業者に、支援策や表彰制度を設けてはどうか。

問 市のホームページやLINEでのPRに努めるとともに、表彰・認定制度についても検討していきたい。

問 若年層の市外流出防止のため、奨学金返還支援制度や市独自の奨学金制度を検討してはどうか。
答 他市との差別化を図り、より効果的な制度とするため、先進的な取組を参考に、更に検討を進めていきたい。

消防団員雇用企業への入札時の優遇制度を実施してはどうか。

問 他市の事例を参考に検討をしたい。
問 広告・防災行政ラジオの割引等の優遇措置を実施し、消防団員雇用企業への協力体制を構築してはどうか。
答 各種施策との整合性を図ると共に他自治体の取組を研究したい。



蒲郡市消防団



伊藤 享佑
市政クラブ

出産・育児について

問 市民病院における里帰り出産の費用と周知方法について伺う。

答 費用は概算で49万円となっている。周知は、関係部署と協議し、総合的な発信に努める。

医療的ケア児の受入体制について

問 本市の現状と保育園入所時の対応は。

答 本市では6人把握しており、入園の場合、訪問看護事業者との看護師派遣の委託契約を締結し、対応していく。

災害発生時の対応について

問 罹災証明書未発行時の仮置場への災害廃棄物搬入はどのようか。
答 住所地が確認できる書面の提示等による受入れを想定している。

災害時における海上物資輸送の体制整備

問 海の駅の防災拠点機能の可能性は。

答 平成30年7月豪雨では、広島県呉市にある「くれ海の駅」が小型船舶の輸送拠点として活用された。

問 災害拠点病院化に向けた広域連携における海上輸送機能の重要性への市の考えは。

答 被災地域からの患者受入体制を強化すると共に、三河港蒲郡地区の機能を活用した被災者受入態勢を整備し、東三河南部圏域の災害医療の拠点となる災害拠点病院の指定に向けた準備を進めていく。



市民病院



大場 康議
自民党市議団

鈴木市長の二期目に向けた挑戦について

問 重要なライフラインの上下水道について、令和4年12月の水道管事故の検証状況は。

答 漏水事故の原因は、管の布設年度が昭和38年と古いことから老朽化によるもの、管が市内の主要道路である市役所通りに埋設されていたことから通行車両も多く、長年の車両荷重の蓄積が想定される。

問 5年度の整備状況として、漏水事故対応を含め南山配水本管の更新事業の進捗状況は。

答 今年度、全体の基本設計業務委託を完了し、10月に基本設計に基づき漏水箇所にあたる管路の詳細設計業務委託を発注した。詳細設計完了後、布設替工事を発注予定である。本事業は当初予定の西

部送水管及び中央配水本管更新事業等に加え、前倒しで行っている。
問 財源として他会計からの繰入金活用は。
答 水道事業は、独立採算制が原則であるが、計画を前倒しで事業実施していく場合など必要が生じた時は、出資金の受入れも状況に応じて検討していきたい。

部送水管及び中央配水本管更新事業等に加え、前倒しで行っている。
問 財源として他会計からの繰入金活用は。
答 水道事業は、独立採算制が原則であるが、計画を前倒しで事業実施していく場合など必要が生じた時は、出資金の受入れも状況に応じて検討していきたい。

問 幹線道路事業促進として、豊岡大塚線の事業再開の検討は。
答 豊岡大塚線は大塚金野線や豊岡大塚線沿線の土地利用の可能性や市全体の事業との整合性等を踏まえた市の交通軸の在り方について、議論していきたい。



2期目の所信表明を行う鈴木市長



新実 祥悟
市政クラブ

第6次財政健全化改革チャレンジ計画

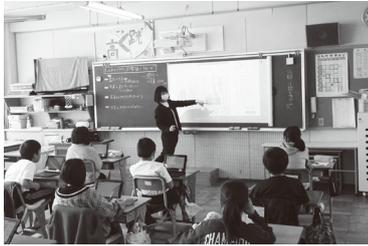
問 市債残高を伺う。
答 令和4年度末において、全会計ベースで約37.2億円である。平成30年度末からは、約46億円減少している。

問 計画の目標を伺う。
答 持続可能な財政運営の確立のため、単年度収支不足の解消、中長期的視点に立ち身の丈に合った財政運営、積極的な財源創出策の推進を目標としている。

問 放課後子ども教室の利用状況を伺う。
答 令和5年度は、11月22日時点で46回を開催し、延べ773名の子どもたちが参加している。5年度は8小学校区で実施しており、6年度には全小学校で

の実施を予定しているため、より多くの子どもたちが参加できる環境が整えられると考えている。

問 本市で取り組んできた35人以下学級について、6年度の状況と今後の見通しを伺う。
答 6年度は、国が小



授業風景



太田哲也
公明党市議員

空家等の対策について

問 法改正により新たな枠組みとして追加された、管理不全空家の対応と周知方法を伺う。

答 現在、国が見直しを行っているガイドラインの内容を踏まえ、市でも管理指針を策定・運用予定である。今後、広報やホームページ等で周知をしていきたい。

問 空家の管理について公的なサービスの展開が必要ではないか。

答 令和5年10月より、空家等対策協力事業者情報登録制度の運用を開始しており、空家の管理サービスを行う事業者の登録や紹介をしている。市が直接行うサービスの展開は現時点で考えていない。

相続登記の義務化について

問 6年4月1日から義務化される相続登記申請をどのように周知しているか。

答 死亡届の手続の際に、「おくやみハンドブック」と一緒にチラシを遺族へ配布している。また、5年2月には広報へ関連記事を掲載した。

問 法務局や関係団体との協力体制を伺う。

答 よろず相談、司法書士による登記相談、弁護士による法律相談を定期的に実施しているほか、毎年10月に「法の日無料相談会」などを予約制で実施している。今後も各関係団体との連携を進めていきたい。



尾崎広道
自由クラブ

風疹の抗体検査について

問 昭和37年4月2日から54年4月1日生まれの男性を、公費で風疹の抗体検査が受けられる対象とした理由は。

答 この年代の男性の抗体保有率は79・6%であり、それ以前に生まれた男性の抗体保有率92・6%と比べ低い状況となっているため。

問 市内の旧慣墓地は子など継承者がいない場合でも使用できるか。

答 荒れ果て、墓地管理料も納入されず、管理に支障をきたすため、各墓地の運営によるが、長期間放置される場合は無縁墳墓として改葬、撤去も考えられる。

問 寺社や旧慣墓地に仏教徒や神道以外の墓

墓地について

の設置は可能か、その情報を調べる方法は。

答 市では具体的に把握していないため、宗教学法人等や地域の墓地管理者に直接問い合わせるよう案内している。

福祉避難所について

問 下着等の着せ替えを必要とする人たちへの対応は。

答 一定の配慮は必要と考え、令和4年度からワンタッチパーテーションの配備を順次進めている。

問 ついで等資材を保管する倉庫はあるか。

答 保管場所の問題は特に聞いていないが、問題があれば話を伺う。



八田寿人
自民党市議員

再生医療について

問 再生医療産業化推進委員会の今後の活動予定について伺う。

答 今年度は「未来の医療とまちをつくる」蒲郡での挑戦と今後の展望」をテーマに、再生医療市民講座を開催する。生徒派遣事業として、令和6年3月に開催の日本再生医療学会総会に、市内の海陽学園の生徒が参加する。学会では、全国から選抜された中高生が再生医療に関するテーマで発表するプログラムであり、書類審査を通過した6チームの中に、海陽学園から2チームが選ばれている。

問 市民病院の再生医療の実績について伺う。

答 臨床研究で行っている尋常性白斑の治療として、2年度から2

症例の実績、12月には3症例目の培養表皮移植が予定されている。表皮水疱症の治療として、2年度から5年11月までに、2人の方に合計12回、培養表皮の移植を行った。

問 再生医療を担う企業の誘致及び集積について伺う。

答 再生医療のまち蒲郡を広くPRし、市民病院での再生医療に関する取組や、再生医療等製品を開発する市内企業の存在など、本市の持つ強みを活かし、将来的なヘルスケア産業のクラスター形成の推進に向け、関係機関と連携しつつ事業実施を図っていく。





鈴木貴晶
自由クラブ

ポートレース蒲郡の活性化について

問 本市では、昭和30年から令和4年度末までにモーターボート競走事業会計から他会計へ繰り出し・出資した総額が、2188億1530万円となる。

答 ポートレース大村では、収益金の用途を示す看板が、場内のほか駅や公民館等に設置されている。本市でもこのような看板を、場内や市役所ロビー、病院等にも設置し貢献度をアピールしてはどうか。

LINE公式アカウントの運用について



ポートレース蒲郡

問 公式アカウントの運用が広がれば、市民サービスの利便性のみならず、市の職員の業務の軽減にもつながると考える。登録者数は他市と比較してどうか。また、年齢属性を伺う。

答 令和5年11月末現在の友だち登録者数は30785ユーザ、人口比39.5%である。県内では41市町村が運営しているが、友だち登録者数では県内で8番目、人口比率では6番目となっている。友だち登録者の年齢割合については、50歳以上が49.3%、30歳40代が38.9%、20代が10.1%、10代以下は1.7%である。



中野香余
自民党市議団

超高齢化社会について

問 認知症に対する市の取組の現状は。

答 認知症サポーター養成講座や介護家族の交流会の開催、認知症カフェの設置、令和5年9月からQRコードを活用した行方不明者の早期発見の取組を行っている。

問 今後の取組は。

答 市ホームページに認知症簡易チェックシートを設け、相談機関へ案内している。特に軽度認知障害を含めた早期発見・治療につながる事業実施について検討していきたい。

未就学児のプライベートゾーンについて

問 小学校でのプライベートゾーン教育の現状はどうか。

答 小学校低学年にお



認知症ガイドブック

いて、プールの授業が始まる時期から身体測定の際に、絵本等を使用して分かりやすく指導をしている。

保育園の入所について

問 兄弟姉妹で異なる保育園に通う事例は市内に何件あるか。

答 20世帯ある。

問 兄弟姉妹で同じ保育園に通うため、新年度からの転園の申込みをすると、元の保育園に戻れない場合があるのはなぜか。

答 新年度の入所は、新規の入所希望者と在園の転園希望者の区別なく公平に、必要度の高い順に入所を決定する。在園の転園希望者が、仮に第1希望を転園したい保育園、第2希望を在籍の保育園としても、両希望とも既に定員に達した場合に、第3希望の保育園を案内せざるを得ない場合もある。

問 転園の希望が叶わなかった場合、元の園

に戻れるような配慮はできないか。

答 今後、新年度の転園希望者には、利用調整の結果、在籍の園に通えなくなる可能性をより一層丁寧に周知し、そうしたケースを十分踏まえた上での転園希望の判断をお願いしていきたい。希望の園に入所できなかった場合、年度途中の転園希望も可能であるため、希望する園の空き状況次第となるが、途中転園の手続も案内していく。

背景には各園の低年齢児保育の受入体制も、あると認識しており、施設整備を進めるとともに、保育士の更なる確保に努めていきたい。





鈴木基夫
自由クラブ

本市のウェルビーイングについて

問 幸福的な視点の主観的アプローチと、ヘルスケア的な視点の客観的アプローチの考え方について伺う。

答 ウェルビーイングの達成には、幸福感の実現と健康の保持増進の2つの視点での推進が重要と認識している。

問 イネープリング・ファクターを実装する街とすることについて伺う。

答 イネープリング・ファクターは市民のウェルビーイングを高める上で重要な視点である。街の様々な場所や事象が人々にどのような影響を及ぼすのか、イネープリング・ファクターを把握し、それを実装する新しいまちづくりの手法について検討していきたい。



問 市民病院が考えるメディカルデータとの統合やPHR（パーソナルヘルスレコード）の構築について伺う。

答 電子カルテのデータを活用できる環境は構築されている。関係機関と協議し活用方法を探ることで、医療・健康分野の質が、更に向上するものと期待する。

問 自然に健康になるウェルビーイングの実現に向けたまちづくりについて伺う。

答 健康づくりの視点と幸福感からの視点の両方向から自然に健康になる社会環境づくりと、PHRを活用した健康なまちづくりを目指していく。



松本昌成
公明党市議員

子育ての孤立化を防ぐ取組について

問 令和6年4月施行の改正児童福祉法により、こども家庭センターの設置が努力義務となる。設置の考えは。

答 こども家庭センターを設置し、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な相談体制を整備していきたい。組織体制は協議中である。

食品ロス削減の推進
ごごご

問 食品ロス削減推進計画の策定について、考えを伺う。

答 6年度に予定される一般廃棄物ごみ処理基本計画の改訂に合わせて、全庁的な食品ロスの取組、市民との協力体制や、事業者等との連携体制を検討し、具体的な食品ロス削減の取組を計画に位置付

けていきたい。

障がい者支援について

問 障害者手帳の情報 スマホの画面に表示し、提示することで割引を受けられるアプリ「ミライロード」の導入について伺う。

答 導入済の自治体の状況を確認し、導入の検討をしていきたい。

問 市の発行物に、スマホ等に対応したUnivoiceの音声コードを導入し、視覚障害者や外国人の情報取得を支援することについて、考えを伺う。

答 県内の自治体等の事例を収集し、調査研究していきたい。



芦川純奈
自民党市議員

学校給食について

問 食物アレルギーにおける、卵除去食以外の対応について伺う。

答 乳アレルギーの児童生徒には、申請に基づき牛乳の提供を止め、希望者には豆乳を提供している。また乳製品を使わないカレーや、米粉を使用したフライなどのメニューを提供している。

問 アレルギー情報の共有や、問題発生時の対応について伺う。

答 新入学児は就学時健康診断の際に、在学児童生徒は毎年または3年に1回アレルギー調査を実施し対応の確認を行っている。

緊急時に備えて各学校で連絡体制を作るほか、エビペン講習会などの研修を実施している。

ひとり親家庭支援について

問 離婚時の公正証書作成費等の補助を市が行う予定はあるか。

答 現時点で市の補助制度は設けていない。他の自治体における対応策や取組を今後研究していきたい。

問 ひとり親家庭への支援策について伺う。

答 資格取得のための高等職業訓練促進給付金や、JR通勤定期乗車券の割引制度などがある。親の就学や疾病等で援助が必要になった際には、家庭生活支援員を派遣する、母子家庭等日常生活支援事業などがある。



学校給食センターアレルギー室での調理



竹内滋泰
市政クラブ

令和6年度の予算 編成について

問 令和6年度予算編成に対する基本的な考え方について伺う。

答 6年度予算は、市民の生命を守ることを最重要課題とし、「豊かな自然 一人ひとりが輝き つながりあうまち」君が愛する蒲郡〜という将来都市像を目指し、市民憲章にある「ひとづくり」、「いえづくり」、「まちづくり」を原点に市民と一緒に未来の蒲郡を創る取組により「誰一人取り残さない」蒲郡の実現のため、未来投資を引き続き進めていく。

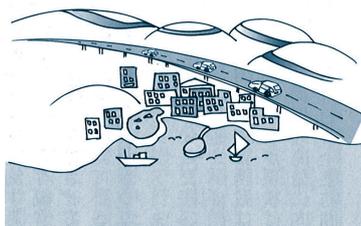
問 新規事業と重点施策について伺う。

答 市制70周年の節目の年であり、70周年記念に相応しい事業について考えている。また、

地区個別計画に基づく塩津、西浦地区の複合施設の建設、クリーンセンター長寿命化工事といった大型事業については、引き続き進めていきたい。

問 市民病院の現在の状況について伺う。

答 5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」に位置づけられ、9月末までは、4階東病棟をコロナ専用病床として運用してきたが、10月以降は、各病棟の個室等で新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れ、通常医療と両立しながら、地域の基幹病院としての責任を果たしている。



12月定例会 議案

モーターボート競走事業の設置等に関する 条例の一部改正などを議決

12月市議会定例会は、12月6日から12月18日までの13日間の会期で開き、議案23件を審議しました。

モーターボート競走事業の設置等に関する条例の一部改正など、主な内容をお知らせします。

条例の改正

●モーターボート競走事業の設置等に関する条例の一部改正
(第84号議案)

ボートレース蒲郡において、有料遊具施設（キッズパーク「Moooviがまごおり」）を新たに設置することに伴い、入場料を定めるため、改正を行います。改正の内容は、市は、有料遊具施設に入場しようとする者から、1回につき300円以下において市長が定める額の有料遊具施設入場料を徴収するものです。入場料は下の表のとおりです。

有料遊具施設の入場料

	本場開催時		本場 非開催時
	～14時15分	14時15分～	
大人	300円	200円※	300円
子ども	300円	300円	300円

※大人は、本場ゲート入場時に100円を徴収する。

(その他)

- ・子どもの対象年齢は12歳までとする。
- ・子どもと一緒に、保護者の方が入場するものとする。
- ・子どものみの利用はできないものとする。

12月定例会の日程

- 6日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、市長の所信表明、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕
- 7日 本会議〔一般質問〕
- 8日 本会議〔一般質問〕
- 11日 総務委員会
- 12日 経済委員会
- 13日 議会運営委員会理事会
議会運営委員会
文教委員会
- 18日 本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕

12月定例会で議決された令和5年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第6号)	土地開発公社事業資金貸付金 1億3,000万円	4億4,679万円	471億9,658万円
	道路交通安全対策事業費 市道宮成町清田前田1号線改良事業費 340万円		
	地域集会施設整備基金積立金 1億1,950万円		
	映画等制作実行委員会負担金 990万円		
	移動式監視カメラ購入費 60万5千円		
	道路新設改良事業費 市道塩浜1号線改良事業費 210万円 市道三谷池田曲り田1号線新設事業費 2,953万円		
	排水路整備事業費 排水路維持整備工事費 2,700万円 物件移転補償費 4,630万円		
	教育施設整備事業費 物件調査委託料 1,082万円 用地測量委託料 263万円 諸経費 8万円		
	市民会館管理運営事業費 指定管理料 1,060万円		
	学校給食センター管理運営事業費 学校給食物資購入費(市負担分) 1,556万円 設楽米市負担分等 44万円		
一般会計 (第7号)	物価高騰対応重点支援事業費 低所得世帯支援給付金給付事業費 5億912万7千円 低所得世帯(家計急変分)支援 給付金給付事業費 210万円 私立保育園等給食費無償化補助金 660万円 私立幼稚園給食費無償化補助金 406万3千円 市外学校等学校給食費支援事業費 39万円	6億3,918万円	478億3,576万円
	水道事業会計繰出金 7,690万円		
	省エネ家電買替促進事業費補助金 4,000万円		
	国民健康保険 事業特別会計 (第2号)		
公共用地対策 事業特別会計 (第1号)	繰越明許費(都川ポンプ場跡地整備事業) 1億1,087万円	-	3億3,530万円
水道事業会計 (第3号)	資本的支出 配水管布設及び布設替工事費 4,630万円	4,630万円	22億8,000万円
水道事業会計 (第4号)	収益的支出 減免チラシ配布委託料 40万円	40万円	20億1,140万円
病院事業会計 (第2号)	収益的支出 薬品費 2,700万円 診療材料費 1億5,500万円	1億8,200万円	106億2,500万円
	資本的支出 器械備品購入費 2,000万円	2,000万円	20億3,830万円
モーターボート 競走事業会計 (第1号)	債務負担行為 事項: G I 周年競走開催事業 期間: 令和6年度 限度額: 4,140万円 事項: テレビ広告事業 期間: 令和6年度 限度額: 4,400万円 事項: 名古屋グランパス協賛広告 宣伝事業 期間: 令和6年度 限度額: 2,360万円	-	1,636億1,720万円

●経済委員会での主な質疑

問 遊具施設の入場料を300円とした理由は。

答 既に遊具施設の営業を開始している他場は、いずれも入場料を300円に定めており、ボートレース業界の統一性も鑑みて、金額を定めたものです。

問 300円の徴収により、どのような積算を想定して

いるか。

答 入場料収入については、約2000万円を見込んでいます。経費面では、人件費、スタッフの研修費、備品の消耗品費、遊具のメンテナンス等を含め、約9000万円を想定しています。

問 今後の夜間営業は想定しているのか。

答 施設を安全に運営するための人員確保の点や、他場の遊具施設において、ナイトレースの時間帯まで営業をしている場所はみられないため、夜間の遊具施設の営業は予定していません。

●本会議での主な論点
賛成入場料は非常に廉価で設定されており、この施設

が開設されることで、ボートレース蒲郡の来場者の増加及びボートレース本場の活性化が図られると期待している。また、市長が所信表明で述べた、子どもファーストを担う一つの施策として、地域の子どもの喜ばれるものと思う。

反対競艇場はギャンブル施設であり、子どもを連れて

に反対である。

いく場所ではない。この施設は子どもを競艇場に馴染ませ、将来のギャンブル客を見込むためという内容が計画に書いてある。ギャンブル依存症によって家庭も仕事も人生も失う人がいる。楽しい遊具があるからと、子どもとその保護者をギャンブルの場に誘い込むことに反対である。

●固定資産評価審査委員会委員の選任
(第87号議案)

委員城所一也氏の任期が令和6年2月29日に満了することに伴い、同氏を引き続き委員に選任することに同意しました。

●三谷町財産区管理委員の選任
(第88号議案)

管理委員渡辺嘉三氏が令和6年1月13日に辞任することに伴い、新たに武内弘氏を委員に選任することに同意しました。

●人権擁護委員の候補者の推薦
(第89号議案)

委員4人の任期が令和6年3月31日に満了することに伴い、村瀬法晃氏、石黒貴美代氏、新井恵二氏、小田眞一氏を引き続き委員の候補者として法務大臣に推薦することについて、異議のない旨決しました。

陳情

○介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

提出者 愛知自治体キャラバン実行委員会
代表者 森谷光夫

審査結果 聞きおく

○市役所職員による市民へのハラスメント行為等を防止する仕組みの構築要請及び再発防止の要請。

提出者 竹尾将仁

審査結果 聞きおく

○日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出を求める陳情書

提出者 愛知県原水爆被災者の会（愛友会）
理事長 金本 弘

審査結果 聞きおく

○「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書

提出者 医療法人耕和会こんどうクリニック 近藤耕次
つけ耳鼻咽喉科 柘植勇人

審査結果 聞きおく

■全会一致で可決・同意した議案（○内の数字は議案番号）

- ⑧職員の給与に関する条例等の一部改正
- ③新型コロナウイルス感染症対策基金条例の廃止
- ⑤地域集会施設整備基金条例の制定
- ⑥国民健康保険税条例の一部改正
- ⑦固定資産評価審査委員会委員の選任
- ⑧三谷町財産区管理委員の選任
- ⑨人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑩指定管理者の指定の期間の変更（竹島水族館）
- ⑪公共施設等運営権の設定（竹島水族館）
- ⑫指定管理者の指定（竹島水族館）
- ⑬指定管理者の指定（文化広場）
- ⑭東三河広域連合規約の変更
- ⑮市道の路線認定及び廃止
- ⑯工事請負契約の締結（拾石防潮樋門撤去工事）
- ⑲令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- ⑳令和5年度公共用地対策事業特別会計補正予算（第1号）
- ㉑令和5年度水道事業会計補正予算（第3号）
- ㉒令和5年度病院事業会計補正予算（第2号）
- ㉓令和5年度一般会計補正予算（第7号）
- ㉔令和5年度水道事業会計補正予算（第4号）

賛否が分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案番号	議案名	自由民主党 蒲郡市議団						蒲郡 自由クラブ			蒲郡 市政クラブ		公明党 蒲郡市議団		無党派						
		大場 康議	千賀 充能	芦刈 純奈	中野 香余	藤田 裕喜	鈴木 将浩	青山 義明	大須賀 林	八田 寿人	牧野 泰広	鈴木 基夫	鈴木 貴晶	尾崎 広道	新実 祥悟	伊藤 享佑	竹内 滋泰	太田 哲也	松本 昌成	来本 健作	日恵野 佳代
84	モーターボート競走事業の設置等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
97	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
102	令和5年度モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

※青山義明議員は議長職により採決には参加していません。

委員会通信

ポートレース場 コミュニティパーク

12月12日に開かれた経済委員会において、ポートレース場コミュニティパークの概要について報告がありました。

未利用地を有効に活用し、来場促進及び売上向上、地域貢献のための施設の活用及び住民から親しまれる施設を目指すため、コミュニティパークを整備します。

学校給食費の改定

12月13日に開かれた文教委員会において、学校給食費の改定について報告がありました。

物価高騰の影響を鑑み、令和6年4月1日から、学校給食費1食当たりの単価を小中学校ともに25円値上げし、小学校270円、中学校310円とします。

経済委員会 10月11日～13日

長崎県大村市／ポートレース大村 (Gruun おおむら)
 熊本県玉名市／企業立地推進計画
 熊本県熊本市／桜町、花畑周辺地区のまちづくり
 福岡県柳川市／第2次柳川市観光振興計画



委員会の行政視察の報告

先進自治体等の事例を学ぶため、10月に経済委員会が、11月に文教委員会と総務委員会が行政視察を行いました。視察地や視察項目をお知らせします。

文教委員会 11月6日～8日

千葉県印西市／ICT教育
 茨城県鹿嶋市／いきいきゆめプール
 千葉県香取市／みんなの賑わい交流拠点コンパス
 茨城県神栖市／はさきマリプール



総務委員会 11月14日～16日

茨城県境町／子育て支援・英語教育、移住定住・PFI
 茨城県常総市／防災先進都市づくり
 茨城県つくば市／防災情報の伝達要領
 埼玉県さいたま市／DXの推進



議会日誌

9月28日から12月18日

10月

11日～13日 経済委員会行政視察
23日 議会運営委員会理事会

11月

6日～8日 文教委員会行政視察
14日～16日 総務委員会行政視察
20日 議会運営委員会理事会
22日 12月定例会招集告示
議案説明会
28日 議会運営委員会
議会運営委員会理事会

12月

6日～18日 12月定例会
18日 議会だより編集委員会
議会運営委員会理事会
名鉄西尾・蒲郡線存続協議会

本会議の傍聴を希望される方は、会議の当日、市役所新館7階の議会事務局で手続をしてください。



また、議会だよりは蒲郡駅（観光交流センターナビテラス）、市民病院、市立図書館にも置いてあります。

3月定例会予定

3月市議会定例会は、2月27日（火）から開会する予定です。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

議会だよりをスマホへ配信します！

下のコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料です！



今月の表紙 竹島とユリカモメ

ユリカモメは冬の渡り鳥で、竹島周辺ほか市内の海岸では、この時期たくさんのユリカモメを見ることができます。カモメといえば白い鳥のイメージですが、ユリカモメは暖かくなるにつれて羽が生え変わり、繁殖地へと旅立つ4月頃には、胴体は白いままですが、頭部は真っ黒な羽で覆われます。身近な動物を観察してみると、ちょっとした変化にも春の兆しを感じられるかもしれません。



4月頃のユリカモメ



2024年明けましておめでとうございます。蒲郡市は本年4月1日で市制施行70周年を迎えます。1954年（昭和29年）4月1日、愛知県で15番目の市として市制施行されました。市名は蒲形村と西之郡村（現在の市中心部）から一文字ずつ取った合成地名です。

蒲郡市制70周年のテーマを「愛し 愛され 蒲郡」として、市制70周年を市全体で祝うとともに、観光や産業、豊かな自然といった蒲郡ならではの魅力を再認識し、その魅力を向上、新たに創出、周知することで、まちへの誇りや愛着を深めます。

そして、一人ひとりが主役となってつながり合い、市民が蒲郡を愛すると同時に、市民に限らず広く愛されるまちを目指すとしています。

議会としても共々に盛り上げてまいりたいと思えます。

さて、蒲郡市議会では、令和3年12月定例会から常任委員会のインターネットライブ中継を実施し、市民の皆様へ議論の様子をお伝えしています。新たに本年3月より、令和6年度の予算議案を審議する予算審査特別委員会もライブ中継が実施される予定です。より多くの皆様に視聴していただけますと幸いです。

議会だよりを通して蒲郡市議会の様子をお知らせし、市議会をより多くの皆様へ身近に感じてもらえるように努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。